

RPPC メールマガジン 第 783 号

リサイクルポート推進協議会（令和元年 7 月 17 日）

■事務局からのお知らせ

1. NPO 法人山形県リサイクルポート情報センターのメルマガを添付いたしました。
～詳細は PDF をご確認ください～

2. 令和元年度 第 1 回 調査研究部会について

日時：8 月 1 日（木）13:30～

場所：みなと総合研究財団 3 階 会議室

〒東京都港区虎ノ門 3 丁目 1 番 10 号第 2 虎の門電気ビルディング 3 階

3. 令和元年度 専門部会について

本年度既に部会活動を開始している部もございますが、
改めて部会へのご参加・ご辞退につきまして、ご変更がある企業・団体様におかれましては、添付の『参加申込書』にご記入いただき、
メールもしくは FAX にてご連絡ください。

※ご変更のない場合はご連絡不要です。

■リサイクルポートに関連する最新の情報

1. 国土交通省港湾局、洋上風力建設へ基地港湾の新規制度検討

国土交通省港湾局は今年 4 月に施行になった再エネ海域利用法に基づき、一般海域における洋上風力発電の導入に関するルールが整備されたことを踏まえ、洋上風力発電設備の基地港湾に関する新制度の創設に向けた検討に着手した。

港湾局ではハード側の要件等が整ったふ頭を、複数の発電事業者が長期的・占用的に利用することが可能となるような仕組みを整える。

2. 2018 年のコンテナ取扱貨物量 2349 万個で過去最高値更新

国土交通省港湾局は全国港湾管理者の情報提供をもとに、わが国港湾における2018年のコンテナ取扱貨物量をまとめた。合計取扱い貨物量は2349万個（TEU換算）で、前年比+3%となり、2017年の2280万個を抜き過去最高値を更新した。

外貿は1890万個（前年比+2.7%）、内貿は460万個（前年比+4.3%）と大きく伸びた。国際フィーダー航路網の拡大など国際コンテナ戦略港湾政策の成果の現れ、と分析している。

3. 下関港の「官民連携による国際クルーズ拠点」整備を促進

九州地方整備局下関港湾事務所は、下関港新港地区の「官民連携による国際クルーズ拠点形成港湾」に係る整備を促進している。同拠点形成計画では既設バースを延伸する形で、水深12m岸壁を380m延長することになっており、今回そのうちの6函分（約120m）について築造工事の手続きを行っている。下関港湾事務所では引き続き残る区間のケーソン製作・築造工事を進めていき、令和4年の運用開始を確実にしたい考え。

同岸壁延伸が完成すると取付部も含め総延長410mのクルーズ船用バースが整い、現在世界で運航になっている最大級クルーズ船の受入れが可能になる。

【港湾空港タイムス7月15日号から編集】



発行者：RPPC 広報部会

部会長：新谷 聡 りんかい日産建設（株）

部会員：丸岡 裕人 日本製鉄（株）

友歳 巖 五洋建設（株）

安藤 彰 東京都

齋藤 憲雄 山形県リサイクルポート情報センター

リサイクルポート推進協議会 事務局

一般財団法人みなと総合研究財団（内） 担当：押田、清水、安田

URL: <http://www.rppc.jp/> E-mail: rppc_jimukyoku@wave.or.jp



■会員主催や会員に関係した催し物（セミナーなど）の情報がありましたらご連絡ください。

開催案内等の情報をメルマガで配信致します。

■メルマガ配信先に変更がある場合、事務局までご連絡ください。

■メルマガに関するご意見、ご要望がありましたらご連絡ください。